



2022年10月25日

報道関係者各位

慶應義塾大学

ポルトガル・カトリック大学カトリック・グローバル法科大学院教授・院長 ミゲル・P・マドゥーロ氏に慶應義塾大学名誉博士の称号を授与

慶應義塾大学は、ミゲル・P・マドゥーロ (Miguel Poiares Maduro) 氏に対し、アカデミックな世界から司法実務、さらには国政分野へ貢献されたことを高く評価し、慶應義塾大学名誉博士の称号を授与することになりました。11月4日(金)、名誉博士称号授与式を開催いたしますので、ぜひご取材をよろしくお願いたします。

1. 名誉博士称号授与式について

日時：11月4日(金) 14:00～14:45 (13:50までにご入場ください)
会場：三田演説館 (慶應義塾大学 三田キャンパス 東京都港区三田 2-15-45)
交通アクセス <https://www.keio.ac.jp/ja/maps/mita.html>
言語：英語 (通訳なし)

2. ミゲル・P・マドゥーロ (Miguel Poiares Maduro) 氏について

ミゲル・P・マドゥーロ (Miguel Poiares Maduro) 氏は、リスボン大学法学部を卒業後、フィレンツェ (イタリア) の欧州大学院で法学博士号を取得しました。その後、リスボン自治大学教授、リスボン・ノヴァ大学教授、欧州大学院教授を経て、現在は、ポルトガル・カトリック大学、カトリック・グローバル法科大学院教授・院長を務めています。

その間、2003年から6年間、欧州連合 (EU) の最高裁判所に当たる EU 司法裁判所に歴代最年少で「アヴォカジェネラル」(裁判官と同等の地位と資格で法廷の構成員となり、単独で判決の勧告を行い、裁判官を先導する役職) に任命され、法の支配、表現の自由などの人権、EU 権限の限界、脱税など広範な分野で数々の有名な「意見」を示し、裁判官の判決を先導していました。

他方で同氏はその学識経験を活かして国政の世界でも多大な貢献をしました。ポルトガルが2013年から債務危機に陥った際、母国の立て直しのため、学識経験を評価され、ポルトガル総理大臣から官房長官兼地域開発大臣に任命され、同氏が参画したポルトガル政府は2014年半ばには債務危機を克服し、経済成長を回復させることに成功しました。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部、教育部、国際部等に送信しております。

本発表資料のお問い合わせ先

慶應義塾広報室 (豊田)

TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640

Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>